



女子高生が社会を変える Blue Earth Project

報告者 兵庫県神戸市松陰高等学校 谷口 理先生

ポイント

松陰高等学校では、「女子高生が社会を変える」をスローガンに、10年来、Blue Earth Project を実施している。今回、このプロジェクトの一環として、TAPプロジェクトの関西での協力を申し出た。活動の主体となる生徒は高校3年生。生徒たちは、自らが水の問題やユニセフの取り組みを学び、参加店の勧誘を行った。また、開催期間中は、啓発のためのイベントなどを実施した。また、日本ユニセフ協会の兵庫県支部のイベント（3月6日）でも発表をした。今回（3月18日）、ユニセフハウスで、TAPキャラバン隊による、プレTAP活動報告会を行った。

実践

1. TAPプロジェクトとの出会い

TAPプロジェクトは、レストラン・カフェを舞台に、通常は無料で提供される水やお茶に対して、任意で100円もしくはそれ以上の募金をいただくというものである。集まった募金は日本ユニセフ協会に集約され、世界で「清潔で安全な水」を手に入れることのできない地域の子どもたちを支援する活動に使われる。寄せられた募金は、衛生的な水の確保が難しい国で井戸を整備する事業などに使われる。本校では、環境問題に取り組む生徒有志でつくるBlue Earth Projectの37人が同プロジェクトのことを知り、店舗などに依頼に回った。Blue Earth Projectは、10年前から環境と国際問題を啓発する展開をしている。そして今回、TAPプロジェクトに賛同し、その活動を推進することにした。

2. TAPプロジェクトの参加

TAPプロジェクトは、阪急西宮ガーデンズで行われた。多くの方が参観され、会場は盛況ぶりだった。また、ガーデンズでは、飲食店25店舗が参加してくれた。



TAPプロジェクトが行われた
フェステルバルガーデンズ1階

ガーデンズの一角には、世界の水事情や、TAPプロジェクトを紹介するコーナーも設けられた。生徒たちは参加店舗に置くテーブルカードや、訪れた人にメッセージをかいてもらう布の展示などを通じて、募金への協力を求めた。



TAP プロジェクトを紹介するコーナー



参加店舗に置くテーブルカードを紹介するコーナー

3. 日本ユニセフ協会での報告会

Blue Earth Projectは、高校卒業後も活動を続けた。具体的には、九州の（株）TOTO本社まで行ったり、松蔭高校まで神戸市長に来ていただいたりして、活動報告会を重ねた。

そして、3月18日（木）、この日はまず、青山にあるレストランで、女優の壇れいさんや有名なシェフの方に交じって、約30社近くの取材陣の前で、緊張しつつ自分たちなりのTAPプレ実施の活動内容を報告した。その後、ユニセフハウスに場所を移して、17:00～18:00、20名の状況メンバーで300時間に及んだBlue Earth ProjectのTAPプレ実施の報告をした。鈴木寛文部科学副大臣にもお越しいただき、プロジェクトベースとラーニング（社会の課題に向けて自分たちで解決を図っていく活動）の成功例として今後大いに広めていきたいと激励していただいた。

自分たちがどのように、店の方々にTAP実施協力を求めていったか。また、町の人たちにどのように世界の水事情の改善とTAPプロジェクトを啓発していったかを報告。最後は日本ユニセフ協会の方やHAKUHODO DESIGNの方々からも温かい言葉をいただき、報告会は終了した。



日本ユニセフ
協会での発表
会

